

みらいん

みやぎの

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。



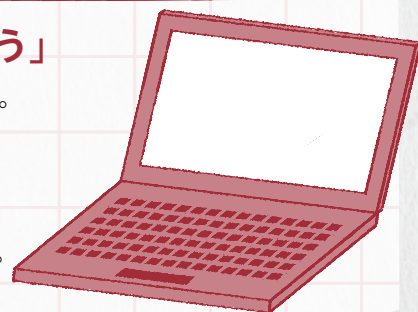
◀ 田邊会長(写真手前中央)と
新浜老人クラブの皆さん。
新年をこぼく1月の定例会は、
余興も交えた賑やかな
スタートとなりました

今月の
ひと

修繕した自宅を会場として4月から定例会を再開した 新浜老人クラブ会長

「老いてもなお未来を信じ、元気にクラブ活動に参加しよう」

新浜老人クラブ会長のほか高砂地区老連会長、宮城野区老連理事も兼ねる田邊直毅さん。多賀城市で約50年にわたり看板や電気工事などの事業所を営んでいましたが、第2の人生として農業を選び、奥様の慶子さんと新浜へ移り住んで11年目になります。震災で地域全体が壊滅的な被害を受けた新浜ですが、自宅のがれき撤去や修繕をして、ライフラインが復旧した4月下旬から住み続けています。「震災でいろんな問題が起こり、各クラブ会長さんからさまざまな相談がくるわけです。だから、私はいち早くここに住んでることを伝えて、皆さんが話しに来られるようにしたかったのです。それが、新浜に戻る大きな目的でした」と、振り返り語る田邊さん。4月に再開した定例会には25名の会員が、その後も毎月20名以上が仮設住宅などから集まり、顔を合わせての情報交換が続いています。「皆さん、“学ぼう”“聴こう”という姿勢で参加してくれるので、常に勉強会のような定例会のもち方を心がけています」と、田邊さん。会員の皆さんへ、日常的なことも含めて細かい情報を提供するために、毎回パソコンを駆使して書面を作成するなど、丁寧な仕事ぶりに信頼が寄せられています。



2012

2

第3号



仙台港背後地六号公園仮設住宅の 幸せ手づくり結婚式

仙台港背後地六号公園仮設住宅に住む武石泰幸さん、優子さん夫妻が自治会主催の結婚式により、住人の方々の祝福を受けました。



写真提供：有限会社 アド・フォート

サーフィンに打ち込む為に五年前に新潟から蒲生へ移住してきた武石泰幸さん。優子さんとの出会いを愛へと育んだのはサーフィンであり、蒲生の海でした。それぞれが蒲生地区で暮らしていましたが、震災で住まいを無くしたのを機に仮設住宅で一緒に暮らしはじめ、十二月十八日に仮設住宅で結婚式を挙げました。

誓約書などの準備をしてきました。迎えた式当日。「私たちにも若い頃があったねえ」と、会場にふたりの写真を張り出して談笑する主婦たちや、外で鼻歌まじりに食事を作る男性陣など、準備段階から住人の皆さんもとてもうれしそうでした。最後に参加者全員が、テントの下でふたりを囲んで改めて祝福するなど、喜びいっぱいの日となりました。

結婚式は、新婚旅行を兼ねてふたりだけで挙げるかと考えていましたが、自治会の集まりの席でふたりの入籍が話題に上がり、自治会が手づくり結婚式を企画することに。「是非とも皆の希望の星になって欲しい！」という住人の想いに応え、お任せすることにしました。



参列者全員で、パチリ

Message
高砂1丁目公園仮設住宅に住んで友人の中川明洋さんより。「元の生活に戻れるようにお互い頑張って、僕らのホームグラウンドの仙台新港でサーフィンを再開したいね」



新婦友人の加藤舞さん、片桐千賀さん制作の
中野小の象徴であるコアジサシ(野鳥)と
日和山がかたどられた素敵なウエディングケーキ。
中野小の理念「野鳥と自然を友達に」がテーマ



サーフィン仲間の引くりヤカーに乗って、さっそうと登場です!

Message
住人の片桐豊彦さんより。「末長く幸せで。何かあったとき、ここでの生活や苦しかった時のことを思い出して、立ち向かって欲しい。まるで自分の娘を送り出す心境です。娘はいませんが(笑)」

Message
ふたりからのメッセージ

皆が「とても良かった、感動した!」と言ってくれて一生の思い出になりました。最初は戸惑ったけど、お願いして本当に良かったです。独りじゃない、皆が助けてくれて、今ここにこうして居るんだと思います。(泰幸さん)

失ったものはあまりに大きすぎて、その代償は、はかり知れません。絆を得たってよく耳にするけど、今までにもあったものだと思う。気づいてなかっただけじゃないかな。それまでの暮らしが、いかに愛おしいものか思い知らされました。今回の結婚式でそれに改めて気づきました。感謝しています。(優子さん)

結婚式を支えた仲間たち

仮設住宅の住人とさまざまなボランティアが関わり、結婚式という大きなイベントを成功させることができました。



式開催の発端 仙台港背後地六号公園仮設住宅自治会

昨年10月の中野復興まつりの反省会で、ふたりの結婚式をやろう! と話題に上ったのが発端。当日の料理提供や会場設営には、多くの住人が一致団結して関わり、作業を通して親睦を深めました。また、式前夜には新郎新婦を交えてお酒を酌み交わす住人もいました。

Message
新しく生まれた若い夫婦を皆で祝うことで、互いの関わりを深めるきっかけになりました(自治会長の佐藤修一さん)



被災地レポート

取材地

これからをつくる、若い世代 南蒲生地区

被害を受けた家屋を修理し
この地に住むことを決意

津波により家屋が全壊判定を受けた南蒲生地区で、再びそこに住む決意をしたのは、吉田祐也さんとその家族です。

震災でこの地区に押し寄せた津波は高さ二層余りで、波は建物の壁を突き抜け、家の中をめちゃくちゃにしました。

「ずっとこの土地に住んでいたのに、小さいころからの思い出がたくさんあります。震災によって自分の好きだったものがすべて奪われてしまい、本当にショックでした。できればこの地域に残りたいと思っていましたが、家の状況があまりにもひどかったので無理なのではないか、とも思っていました」と、吉田さんは当時を振り返ります。



自宅敷地内の貸家をボランティアハウスとしても開放している吉田さん。手前の家には、震災前に両親と妹さんが住んでいましたが、完全には修繕できていない状況のようです



▲吉田さんが住む仙台市宮城野区蒲生字原屋敷地区の現在。震災の爪痕がいまなお残っています

「住もうと決めました」と吉田さん。それから家の修繕を始め、住める状態になったので、八月に一人で戻り住みながら修繕を続けました。九月半ばからは、祖母の淑子さんも母屋へ戻ってきて、一緒に住んでいます。現在は吉田さんの両親と妹が戻ってこられるように、他の建物も修繕中です。

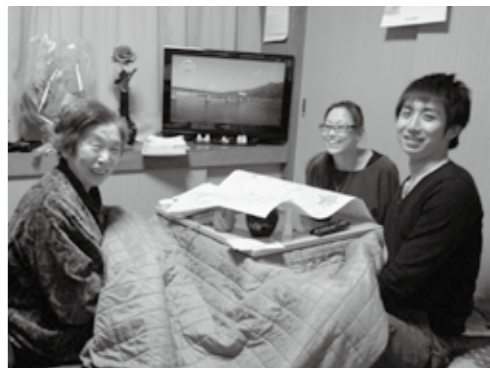
再生した我が家で育む 新しい家族の絆

二〇一一年五月の挙式を目指して、結婚式や新生活の準備を進めていた吉田さんと幼なじみで婚約者の加藤夢さん。延期していた挙式を今年の五月にするため、今またその準備をはじめました。

淑子さんも畑仕事を再開しました。夢さんの祖母のみつきさんが手伝いに来て、夢さんと三人で玉ねぎとユキナを植えました。「以前は一年を通して家の前に花が咲き続けたのが残念だけど、残ったものの芽

が出てくるのが楽しみです。アパートでの土の無い生活は味気がなかったから、またこうして土をいじれるのがうれしいわ」と、今後も畑を続けていこうと意欲的です。

今、再生した我が家で、吉田さんは改めて地域への思いとこれからの決意を語ってくれました。「この地域には藩政時代からの歴史があり、お年寄りたちが話してくれていました。歴史があっても自然も残っており、人がいい地域です。将来は自分の世代が中心になるから、今のうちから動いていかないといけないと思って、ほかの若い人たちと積極的に動いています」との言葉に、夢さんも頷いていました。



▲修繕が済んだ自宅にて、吉田祐也さんと夢さん、そして祖母淑子さん

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

津波で流出した写真などをお渡しします

東日本大震災の津波被害地域(宮城野区・若林区)でのがれきり処理作業中に回収された写真、アルバム、賞状など思い出の品を展示し、所有者やご家族へお渡しします。

時 2月29日(水)~3月25日(日) 10:00~16:00
(休館日=毎週月曜日、3月21日(水))

所 中央市民センター体育館

(宮城野区榴岡4-1-8パルシティ仙台6階)

※貴重品の引渡しには身分証明書の写しをいただく場合がありますので、免許証などお名前が確認できるものをご持参ください。また、専用の駐車場がありませんので、公共交通機関でのご来場にご協力をお願いします。

問 ▼022-291-2111 宮城野区民生生活課(内線6146~7)

▼022-282-1111 若林区まちづくり推進課(内線6136)

▼022-234-1111 消防局防災安全課(内線2330)

巡回相談

生活上の困りごとなど、さまざまな相談に応える地域支えあいセンターの巡回相談は、以下の日程で行われます。どの会場でも利用できます。予約不要。(他の区での実施予定は、下記までお問い合わせください)

対象 主に借り上げ民間賃貸住宅にお住まいの方

巡回相談(2月10日~3月10日 9:30~16:00)

▼田子市民センター 2月10日、24日、3月2日、9日
(毎週金曜日)

▼中央市民センター 3月1日、8日
(木曜日=不定期)

▼東部市民センター 2月15日、22日、29日、3月7日
(毎週水曜日)

▼高砂市民センター 2月11日、18日、25日、3月3日
(毎週土曜日)

▼福室市民センター 2月14日、21日、28日、3月6日
(毎週火曜日)

問 022-217-7234 仙台市社会福祉協議会 中核支えあいセンター

ささえあいの会

東日本大震災で大切な人を亡くされた皆さまが、ともに想いを語り合うことで、分かち合い、支えあう場です。

対象 どなたでも参加できます。予約不要

時 2月12日(日) 13:00~15:00

所 仙台市福祉プラザ10階(仙台市青葉区五橋2-12-2)

問 022-718-4401 社会福祉法人 仙台的のちの電話

ブックワゴン

宮城野区内の仮設住宅へ、移動図書館が訪問します。

対象 お近くにお住まいの方などなたでも利用できます

時 ▼2月10日、17日、3月2日、9日(金曜日)

11:00~12:30 仙台港背後地6号公園

▼2月14日、28日、3月6日(火曜日)

11:00~12:30 扇町4丁目公園

14:30~16:30 高砂1丁目公園、鶴巻1丁目公園

▼2月15日、29日、3月7日(水曜日)

11:00~12:30 岡田西町公園、福田町南1丁目公園

14:30~16:30 扇町1丁目公園、港南西公園

問 当日の運行状況、巡回ルートに関するお問い合わせは、

080-1301-6664 ブックワゴン仙台事務局(月・火・水・金・

土9:00~18:00)。プロジェクトや広報の問い合わせは

03-5840-2707 ブックワゴン東京事務局

健康応援団

宮城野区家庭健康課では健康体操や講話・健康相談を定期的に行っています。

対象 仮設住宅入居者を中心に、どなたでも参加可能です

時 集会所・談話室のポスター又は下記にお問い合わせ

所 各仮設住宅集会所・談話室

問 022-291-2111 宮城野区家庭健康課(内線6782・6784)

レクリエーション~こころも体もリフレッシュ~

健康相談や健康体操などを実施します。

対象 仮設住宅入居者を中心に、どなたでも参加可能です

時 2月24日(金) 13:30~15:00

所 扇町1丁目公園仮設住宅集会所

問 022-782-3511 東仙台地域包括支援センター

快適生活

暖かい季節を待ちわびるこの頃。立春を迎えたとはいえ、東北の寒さはもう少し続きそうです。さて、今回は気になる暖房費を抑えつつ、手軽に暖をとれるアイデアをご紹介します。

仕事机、学習机の足元を暖めよう

このページのイラストを描いている東北工業大学の南さんが、勉強中に実践しているエコ暖アイデアを教えてくださいました。

この時期、机に向かうと特に冷えが気になるのが足元。そんな時は発泡スチロールを机の下に置いてみましょう。発泡スチロールは熱が逃げにくいので、意外にも驚くほどの暖かさを感じることができます。長時間の台所仕事などでもお試しください。



東北工業大学 南大地さん

発泡スチロール箱のふたの部分なら、切ったりせずに置くだけでそのまま利用できて便利！

イラスト/米森美香子、南大地(東北工業大学)

エコ暖の基本は3つの「首」

効率よく体を温めるために押さえておきたいポイントが、「首、手首、足首」の3つの「首」。それぞれ皮膚が薄く、外の気温に影響されやすい部分。ここをしっかり防寒することで温まった血流がスムーズに流れ、効率よく全身を温めることができます。

マフラーや手袋、厚手の靴下などでしっかり防寒しましょう。また、即効性のある裏技として首の後ろにドライヤーの温風を当てるといった方法も！肌から少し離して、やけどに注意してお試しください。

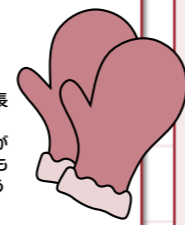


首もと

マフラーやストールで外気に触れないようにしっかりとカバーして

手くび

手首まで隠れる長めの手袋が便利。コート類も袖口がしっかり閉まるものを選びましょう



足くび

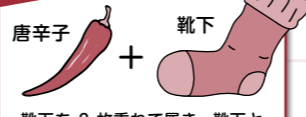
厚手の靴下が窮屈な方には、ひざ下から足首まで覆えるレッグウォーマーがおすすめ



視覚で体感温度アップ

赤や黄色、オレンジなどの暖かいイメージの色には、体感温度を上げる効果があるとされています。下着や衣類に用いるのももちろんのこと、インテリアにも取り入れてみませんか？カーテン、座布団やクッションのカバーなど、身近なものを暖色系に替えてみましょう。

裏技でさらにポカポカ！



靴下を2枚重ねて履き、靴下と靴下の間に唐辛子(鷹の爪)を入れるだけ。ポカポカ効果が倍増します。※刺激が強いときはすぐに使用を中止してください

震災困りごと Q&A ~紙上弁護士相談~

Q 震災後、自宅に突然販売業者が訪ねてきて、「布団の無料点検をしています」と言われ、無料なので点検してもらったところ、「お宅の布団はダニがたくさんおり、体に悪い」と説明され、不安になったため布団を購入してしまいました。あとで家族に相談したところ必要ないと言われました。解約できないでしょうか。

A 今回の震災後、こうした訪問販売に関するトラブルの増加が予想されます。

訪問販売業者の中には、販売目的を隠して訪問したり、健康状態が悪化するなどと言って不安を煽り、契約を迫ったり、品物について、きちんと説明をしないまま契約させたりする悪質な業者もいるようです。

このように、自宅を訪問して契約を結ぶ訪問販売の場合には、契約書などの書面を受け取った日から8日以内であれば、たとえ品物を使い始めていたとしても、クーリングオフによる契約の解除をすることができます。また、契約書等の書面を受け取ってから8日を過ぎてしまった場合でも、このような書面に代金額やクーリングオフに関する記載がないときには、クーリングオフによる契約の解除をすることができます。さらに、勧誘の際に目的物に関して事実でないことを業者から説明されていた場合

にも、契約を取り消すことができる可能性があります。

訪問販売の勧誘を受けた場合に大切なことは、まず、「すぐにその場で契約しない」ことです。家族や友人に相談するなどし、必要な契約かどうかを十分に考えて下さい。別の業者にも見積りをしてもらうのも良い方法です。次に、「契約内容や金額を十分に確認すること」です。よく分からない点は、業者に説明を求めることが必要です。そして、「必要のない契約の場合には、はっきりと断ること」です。

訪問販売等の契約で何かトラブルがあったときは、1人だけでは悩まずに、弁護士会等で行っている法律相談やお近くの消費生活相談窓口でお気軽にご相談いただければと思います。

平日無料法律相談の連絡先

仙台弁護士会法律相談センター

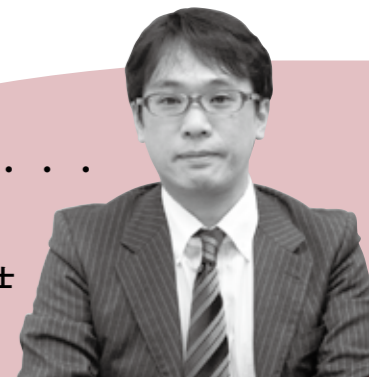
仙台市青葉区一番町2-9-18
TEL: 022-223-2383(予約不要。月・木は夜間相談あり)

「みらいん」紙上で弁護士の先生に相談したい方、ぜひ困りごとの内容について教えてください(8ページ参照)

今回の先生は・・・

プロフィール **大泉力也** 弁護士

仙台弁護士会所属(荒・大橋法律事務所)
福島大学卒
仙台弁護士会消費者問題対策特別委員会委員等



ひとこと「ひんが

「死活覚悟」

牧場を経営してある再従兄弟に教へてもらったのですが、そこでは人工授精でなく、牛達の自然な生殖に任せてあるとのこと。「その場合、牛の社会では好きなタイプの相手をお互ひ意識してから同意の上で相手を決めるの？」と訊いたら「牝牛が妊娠可能な状態になったのを察知すると、牝牛は積極的に求愛を始めるのサ」だって。その結果元気な仔牛が生まれるとのこと。

この世に赤ん坊が一人誕生するといふことは、父方母方の血筋を併せ持つて生まれてくるくらゐまでは考へますが、仏教ではもともとと深く、人間業(人類の歴史)で起こった全ての出来事と行為)全部を一人ひとりが背負って生まれてくるのだよと教へて下さいます。さういふトデモナイ命を戴いて生まれてきたからには「死ぬ覚悟があるなら何だってできる」よりも「どんな状況の中でも生きてみせる」の方が素敵だ!!

佐藤和丸

佐藤和丸(さとう かずまる)

若林区日辺の浄土真宗大谷派・徳照寺住職。情報誌への執筆や居酒屋での説法会などを行う、ユニークな人柄と行動力の持ち主。

次号は濱田直嗣さん(宮城県慶長使節船ミュージアム館長)にご登場いただきます。

解説 生活不活発病とは

動かないことが原因で全身の機能が低下して「動けなくなる」ことを言い、体や頭の働き、心の状態も弱ってきます。歩くことが難しくなったり、疲れやすくなったりして動きにくくなり、次第に生活不活発病は進んでいきます。特に、高齢の方や持病のある方は悪循環に陥りやすいので気をつけましょう。早めの相談と対応を心がけることが重要です。

生活環境が変化したことによって、体を動かす機会が減っていませんか？ 今の季節は特に、雪道が危ない、寒くて外出がおっくうだ、と閉じこもりがちになってしまいうケースが多く見られます。

テーマ 生活不活発病

健康ナビ

予防のポイント

使われない身体機能は衰えていくものですが、その範囲も衰え方も思った以上に大きいものです。毎日の生活の中で積極的に動くようにしましょう。軽い体操や散歩などを習慣づけるのも有効です。
一年だから「持病があるから」自分は安静にしなくて、と思いがちです。かかりつけ医などにごの程度体を動かしてよいか相談して判断すると良いでしょう。
地域や家庭での役割を持つたり、楽しみを見つけて生きがいのある生活を送ることが、自然と体を動かすことにつながります。家族や周囲の方もぜひ応援してください。家に閉じこもらずに、暖かい格好をして外に出て、楽しみながら体を動かしてみしましょう。

夫婦円満と海の神様を祭る高砂神社。江戸時代、塩釜から蒲生へ米などの作物を輸送するための「貞山運河掘さく工事」が仙台藩より施行されましたが、非常に難行したため工事完成を祈願して祠を建てたところ、不思議と順調に工事が進みました。昭和四十年代、仙台新港建設工事のため中野高松から蒲生字町へ遷宮。震災で本社や御神輿、境内の松やご神木が流失しましたが、神社庁や企業、地元有志の皆さんの協力で昨年十二月八日に仮のお社ができました。

十一日には小野修宮司による御神入※が行われ、地元有志の皆さん約三十名が参加して、蒲生の鎮守神の復興の第一歩を見守りました。



▲地域の方々の心の拠り所としてこの地に鎮座する高砂神社

高砂神社の鎮座地は、震災前と変わりません
宮城県仙台市宮城野区蒲生字町86-41

※御神体に天から神様をお呼びして、お入りいただくこと

クロスワードパズル

出題
石田竹久

こたえ

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

1		2		3		4
				D		
		5				
6	7			8	9	
10			11			12
E			A			
	13				14	
						C
15			16	17		
		18				

タテのカギ

- ①露店などで見られる、甘くてあったかい飲み物。米どころだからこそ美味しい
- ②今年は何年なので、2月は29日まで
- ③カートをゴシゴシ、きれいに。お風呂で使う道具
- ④言わずと知れた、仙台の初代藩主にして名武将、○○政宗
- ⑦活版印刷の凸版に対して、紙幣など繊細な刷りに適した印刷版
- ⑨福の神で有名な仙台○○○は、江戸から明治にかけて実在した人物。彼が寄った店は必ず繁盛したと伝えられます
- ⑩居酒屋などで、注文をしなくても出てくる最初のおつまみ
- ⑫隣接する内沼とともに、国内最大級の渡り鳥の越冬地。栗原市と登米市にまたがります
- ⑮鍋に入れたり、おひたしにしたり。春の七草のひとつです
- ⑰力士が嫌う星の色

ヨコのカギ

- ①鳴子温泉、飯坂温泉とともに奥州三名湯のひとつ、仙台の○○○温泉
- ③国の重要文化財にして、宮城県最古の木造建築物である高蔵寺阿彌陀堂があるのは○○○市
- ⑤スポーツでも車の運転でも、これを守らず違反はいけません
- ⑥冬場も観光客で賑わう○○○連峰は、宮城県と山形県とにまたがります
- ⑧ハサミに勝って、紙に負けます
- ⑩非常に珍しく、めったにないこと
- ⑪肌を白く見せる化粧品。「白粉」と書いて
- ⑬小麦粉に水を加えて練り、熟成させた生地を指でちぎって野菜などと煮込んだり。郷土の味、○○○汁
- ⑭グルグルと巻き込むような水の流れ
- ⑮1円=100○○
- ⑯松尾芭蕉は『○○の細道』を残すにあたり、宮城県では仙台、松島、石巻、鳴子などを巡り歩きました
- ⑰牡鹿半島の先端近く、網地島に隣接して浮かび、ネコの島との異名も

前回のこたえ

A ド B ン C ト D サ E イ

でした。

1	2	3	4
ネ	ナ	シ	ン
5	6	7	8
ギ	ン	サ	バ
9	10	11	12
ボ	ー	イ	ア
13	14	15	16
ク	ト	ウ	ザ
17	18	19	20
ネ	ド	ウ	ラ
21	22	23	24
モ	ン	ク	シ
25	26	27	28
ト	ハ	ラ	マ

編集後記

老人クラブの皆さんの笑顔は、豊かな経験を積んだからこそその深みがあります。若い夫妻は、他者と繋がることの大切さに改めて気付いたと語ってくれました。皆さん、素敵です。(芳賀)

もうじき春の足音が聞こえてきますね。冬ならではの味覚を楽しんでおきましょう。私は鍋と燗酒があれば満足。鍋に相性が良いセリですが、最近、根っこを食べることを覚えました。(おおが)

情報提供のお願い

「みらいん」は、皆さんと一緒に作り、歩む情報紙です。紙面に対するご感想や、紹介したい人や場所、今抱えている思いなどのコメントをハガキ、FAX、メールでお寄せください。読者の皆さんの思いを、紙面に反映していきます。

送付先：〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12

「みらいん」編集部

F A X : 022-390-5756 e-mail : kawara@mmmm.or.jp